

日本一短い「母」への手紙（1995）

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 日本
色彩 Color
時間 117分
初公開日 1995/11/23
公開情報 東映

【解説】
福井県丸岡町が募集した“一筆啓上”から誕生した『日本一短い「母」への手紙』の映画化。秀作の中の一編“あの人と幸せでしょうか、お母さん。父さんは無口を通し逝きました”という短い手紙をもとに、ある家族のドラマを描く。オリジナルストーリーとして脚本化したのは伊藤亮二と澤井信一郎、監督は澤井信一郎が務めた。出演は「江戸城大乱」の十朱幸代、「螢II 赤い傷痕」の裕木奈江、「汚い奴」の原田龍二。
長野県のデザイン会社に勤める前原真紀と弟で大学生の宏は、建設会社勤務の父と共に3人暮らし。母親は18年前、家族を捨てて別の男のもとへ去ったのだった。そんな父は何一つ語らず、突然の心臓発作で亡くなる。真紀は自らの思いをワープロに打ちこんだが、偶然にもこの文章に宏が気づき、真紀に秘密で“日本一短い「母」への手紙”コンテストに応募してみることを思いつく。

【クレジット】
監督 澤井信一郎
企画 坂上順
プロデューサー 小島吉弘
進藤淳一
浅附明子
原作 丸岡文化振興事業団編
脚本 伊藤亮二
澤井信一郎
撮影 木村大作
美術 桑名忠之
編集 西東清明
音楽 坂田晃一
助監督 香月秀之
出演 十朱幸代
原田龍二
裕木奈江
別所哲也
鈴木砂羽
天宮良
原日出子
中島唱子
村井国夫

勝野洋	
淡路恵子	Keiko Awaji
小林稔侍	
加藤治子	
江守徹	